

鳩山政権の誕生と崩壊

～政権交代で何をを目指したのか～

戦後日本は一貫して米国の隷属下、米軍の占領下におかれてきた。そうした中で2009年9月に対米自立・脱官僚政治を志向した鳩山政権が誕生し、事務次官会議の廃止、特別会計の見直し、年次改革要望書の取り止め、普天間基地辺野古移設の見直し、東アジア共同体構想の提起など実現出来なかった政策も含めて大きな功績を残した。

そこで今回の公開シンポでは、この鳩山政権がどのようにして誕生し、何をを目指したのか、なぜ崩壊したのか、をじっくりと考えてみたいと思います。

それでは当日、一人でも多くの皆さま方のご参加をお待ちしています。

ISF独立言論フォーラム編集長 木村 朗

報告者

鳩山友紀夫さん（元総理）

植草一秀さん（政治経済評論家）

川内博史さん（前衆議院議員）

原口一博さん（衆議院議員）※予定

鳥越俊太郎さん（ジャーナリスト）※ビデオメッセージ

1月27日(土) 14時

(13時半開場・17時半終了)

資料代：1,000円（会員・サポーターは半額）*当日受付にてお支払い下さい

会場：全国家電会館（東京都文京区湯島3-6-1）

アクセス→ <https://www.jeass.or.jp/map.htm>（地図ご参照）

申込み：参加ご希望の方は、ISF独立言論フォーラムまで事前申込をお願いいたします。

申込フォーム：<https://isfweb.org/symposium/>

メールでも受付いたします。

お名前、1月27日シンポジウムと明記の上、info@isfweb.org までお願い致します。



銀座線末広町駅 徒歩7分 千代田線湯島駅 徒歩5分
JRお茶の水駅 徒歩10分